



IT Holdings

2013年3月期 第2四半期決算説明資料

平成24年10月31日

ITホールディングス株式会社

Copyright © 2012 IT Holdings Corporation

ITホールディングスグループ

2013年3月期第2四半期(累計) 業績概要

2013年3月期通期 業績見通し

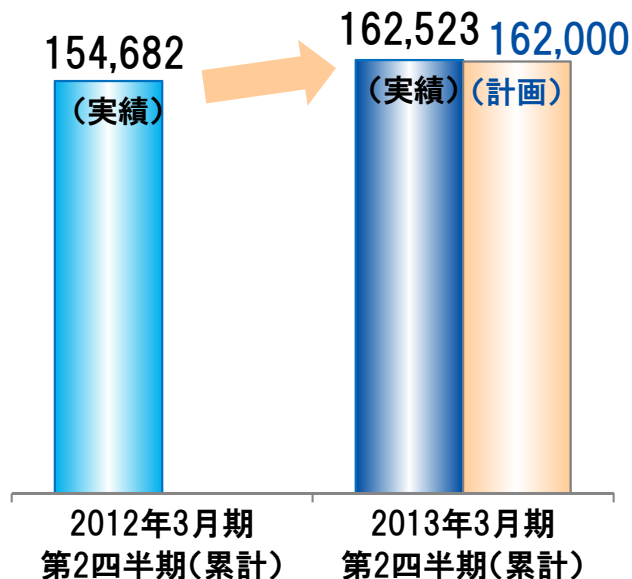
重点施策の進捗状況

参考資料

- 日本経済は震災復興需要等により緩やかに持ち直す動きも見られたが、欧州・中国等の海外経済の減速等の影響を受け、先行き不透明な状況にあった。
- 情報サービス産業においては一部で景気悪化懸念による影響も見られたものの、顧客のIT投資を再開する動きが強まる等、まだ模様ながら全体としては堅調に推移。
- ITHDグループは前年同期比増収増益決算となり、上期期初計画を達成した。
 売上高：産業ITサービスが牽引したほか金融ITサービスも緩やかに回復し、前年同期比増収(+5.1%)。
 営業利益：増収効果に加え、前期に実施したオフィス移転・集約効果や子会社間の合併に伴う施策の効果の発現、不採算案件抑制等により、大幅に改善(前年同期比+54.8%)。

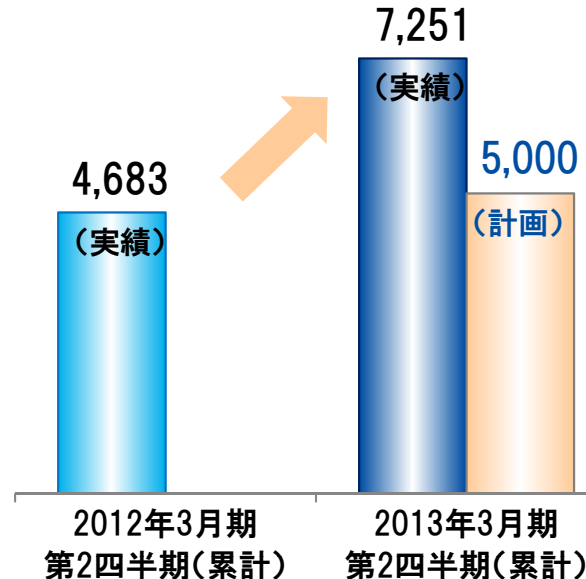
<売上高>

前年同期比: +7,841百万円(+5.1%)
 期初計画比: +523百万円(+0.3%)



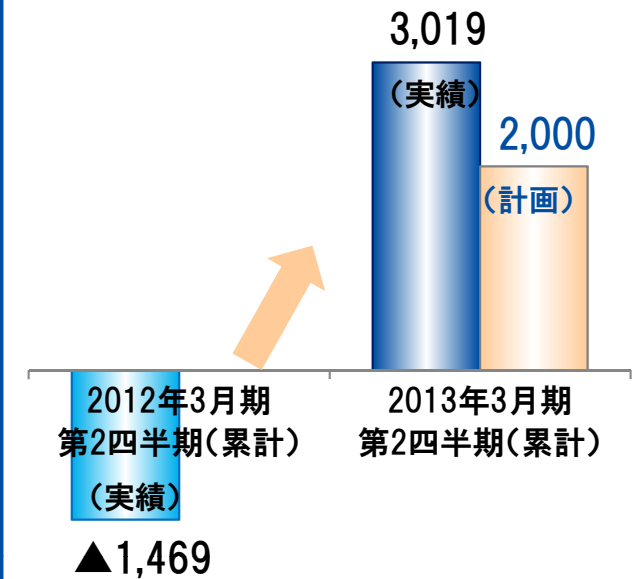
<営業利益>

前年同期比: +2,568百万円(+54.8%)
 期初計画比: +2,251百万円(+45.0%)



<四半期純利益>

前年同期比: +4,488百万円
 期初計画比: +1,019百万円(+51.0%)

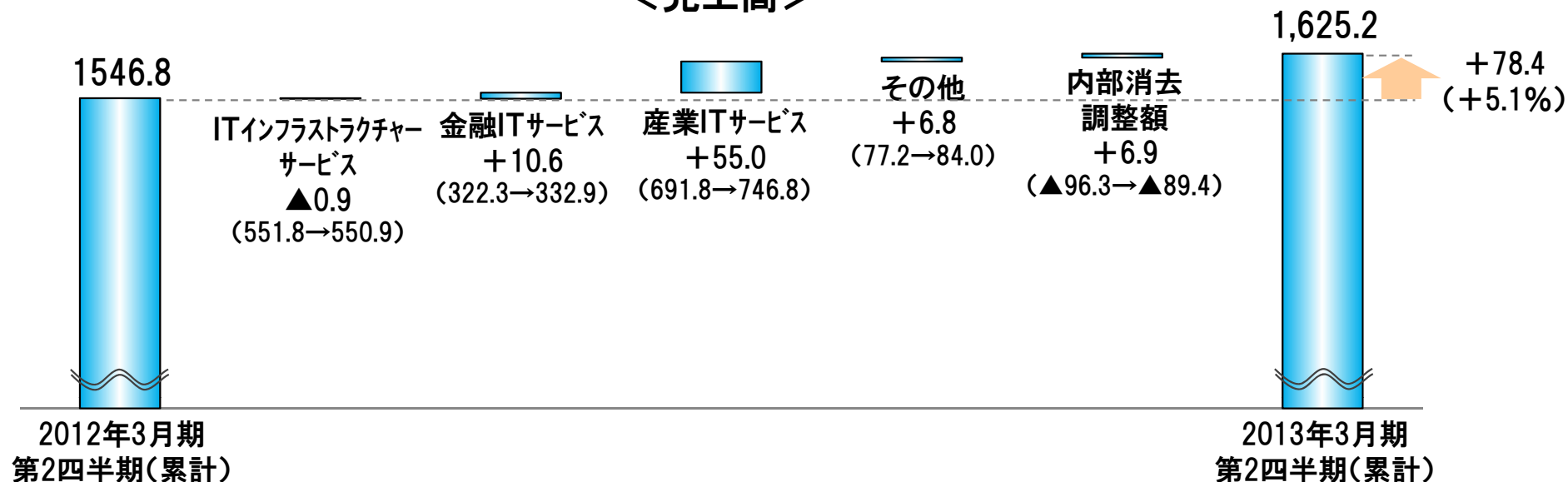


2013年3月期第2四半期(累計) 売上高・営業利益増減分析

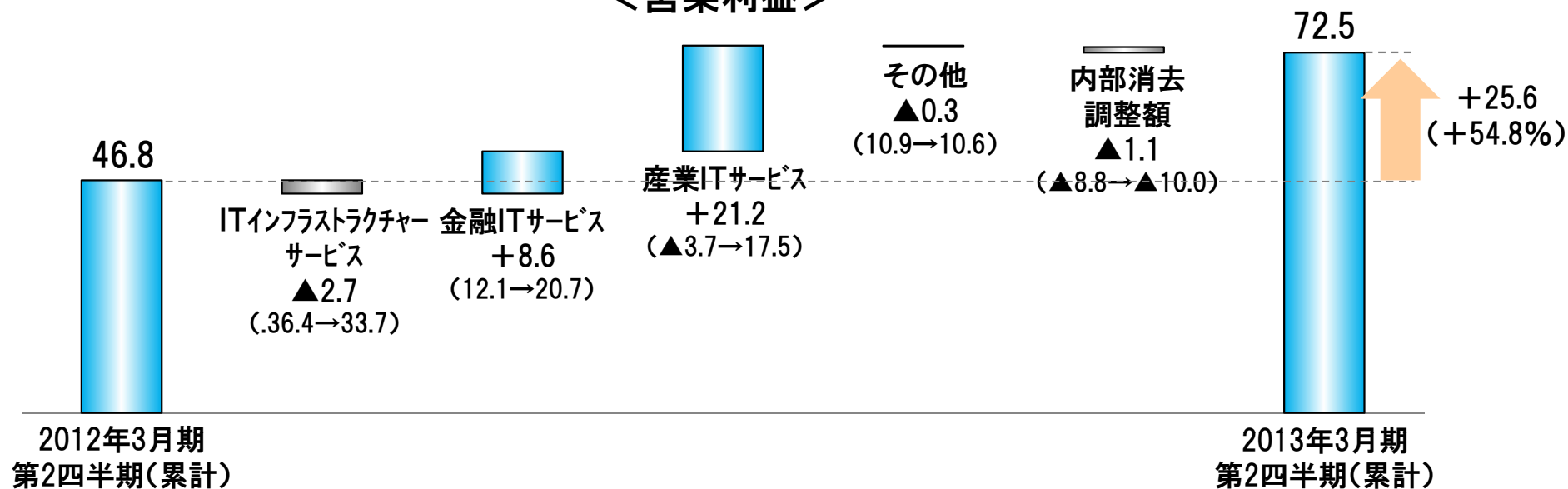
(単位:億円)



<売上高>



<営業利益>



2013年3月期第2四半期(累計) 主要セグメント別損益状況

(単位:百万円)



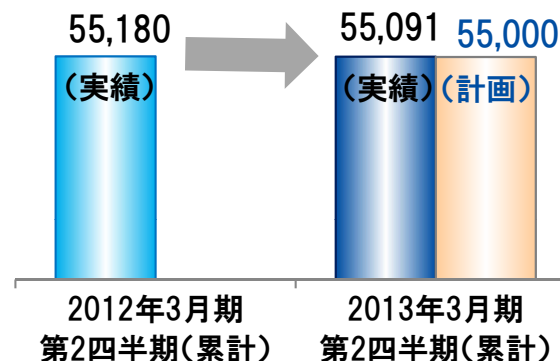
ITインフラストラクチャーサービス

<売上高>

前年同期比: ▲89百万円(▲0.2%)

期初計画比: +91百万円(+0.2%)

「GDC御殿山」等の次世代データセンター事業に対する需要増等から安定的に推移。

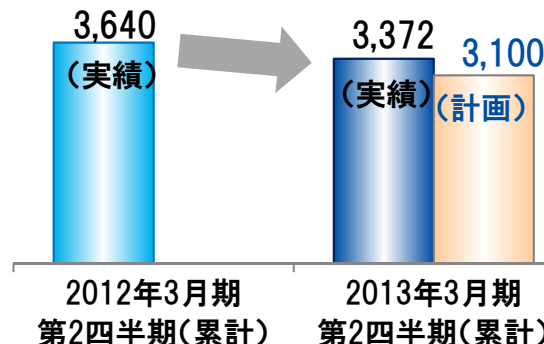


<営業利益>

前年同期比: ▲268百万円(▲7.3%)

期初計画比: +272百万円(+8.8%)

先行投資費用や電力料値上げの影響等から前年同期を下回った。



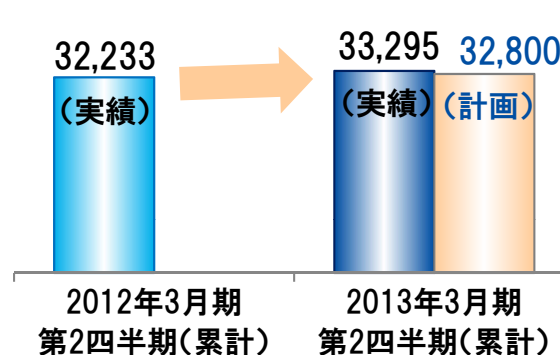
金融ITサービス

<売上高>

前年同期比: +1,062百万円(+3.3%)

期初計画比: +495百万円(+1.5%)

一部のクレジットカード会社におけるIT投資再開の動きが牽引し、増収。

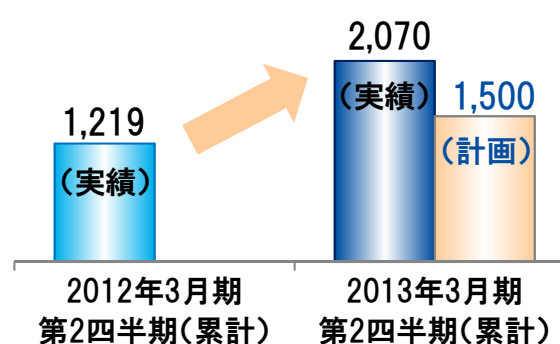


<営業利益>

前年同期比: +851百万円(+69.8%)

期初計画比: +570百万円(+38.0%)

増収効果等により、大幅に増益。



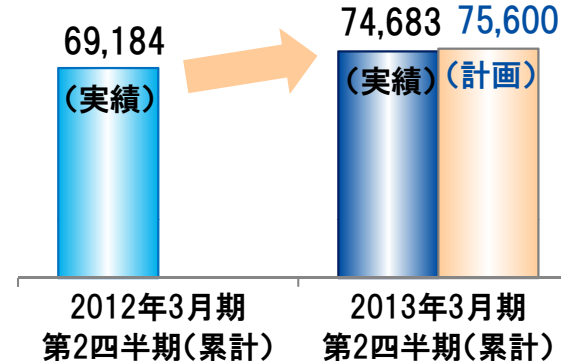
産業ITサービス

<売上高>

前年同期比: +5,499百万円(+7.9%)

期初計画比: ▲917百万円(▲1.2%)

製造業大手顧客向け大型開発案件が牽引し、大幅増収。

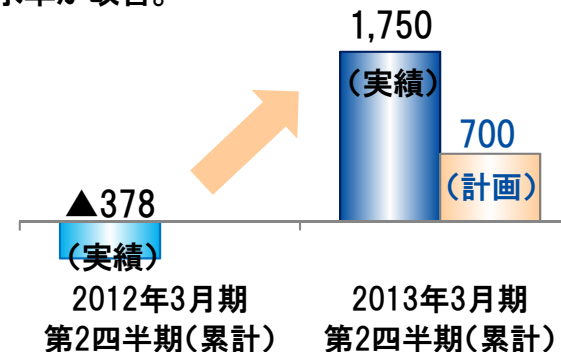


<営業利益>

前年同期比: +2,128百万円

期初計画比: +1,050百万円(+150.0%)

増収効果や不採算案件の抑制等により、利益水準が改善。



各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

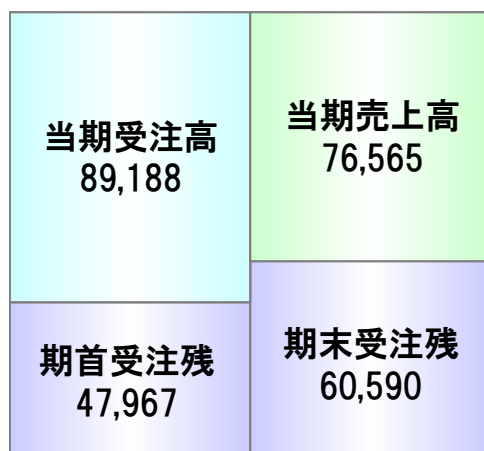
2013年3月期第2四半期(累計) 受注状況

(単位:百万円)

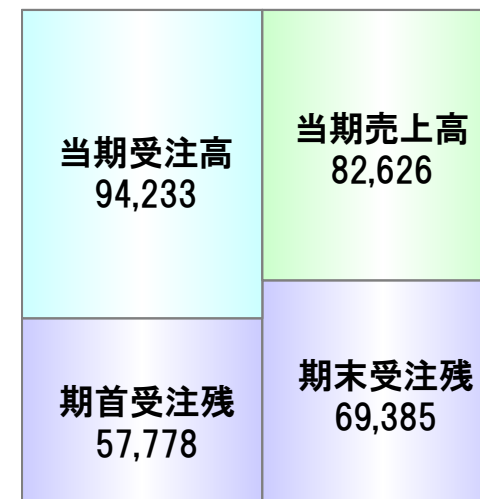


産業分野の中小型案件等の積上げ及び金融分野も回復し、受注高・受注残とも前年同期比大幅増。

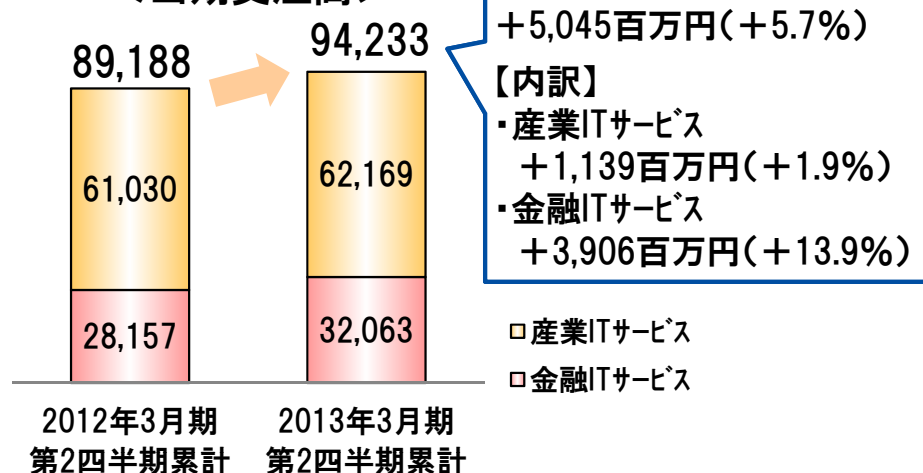
<2012年3月期第2四半期(累計)>



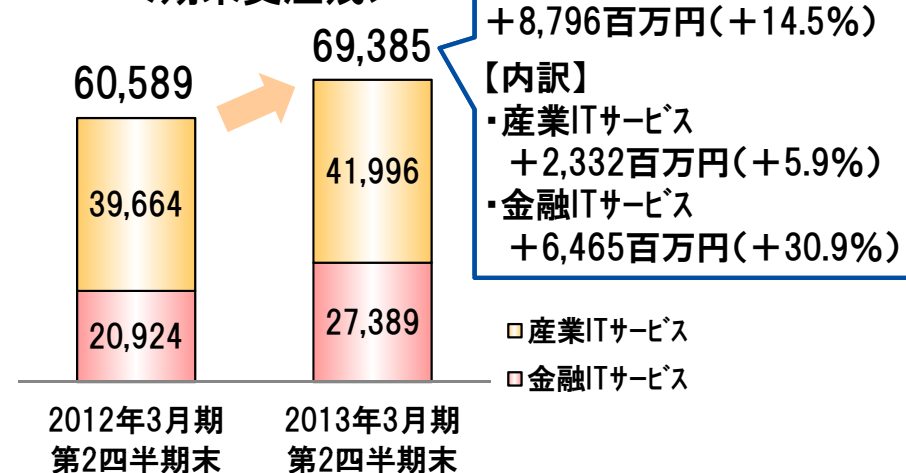
<2013年3月期第2四半期(累計)>



<当期受注高>



<期末受注残>



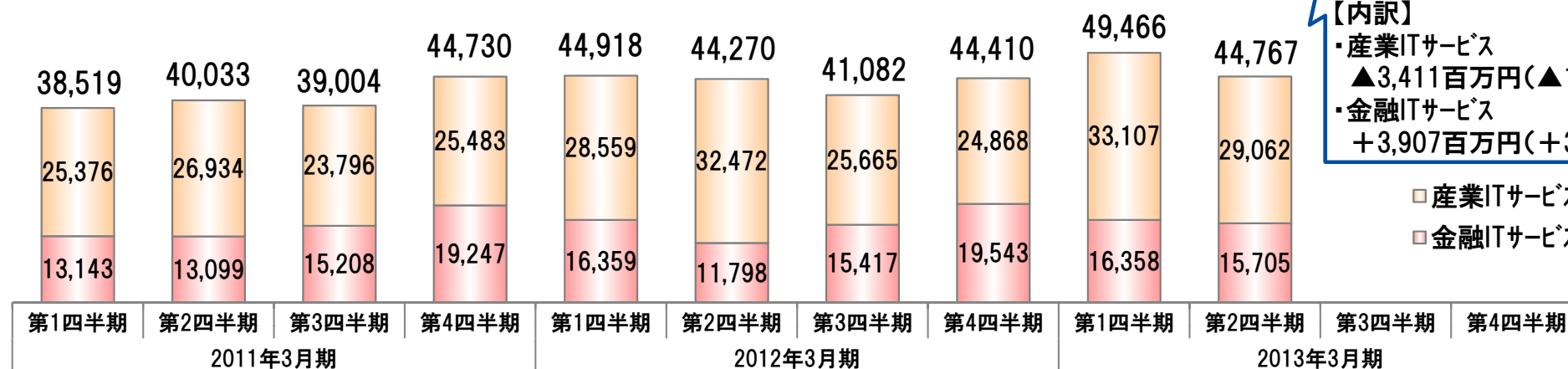
当期受注高・当期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。

受注状況(四半期別推移)

(単位:百万円)



<受注高>



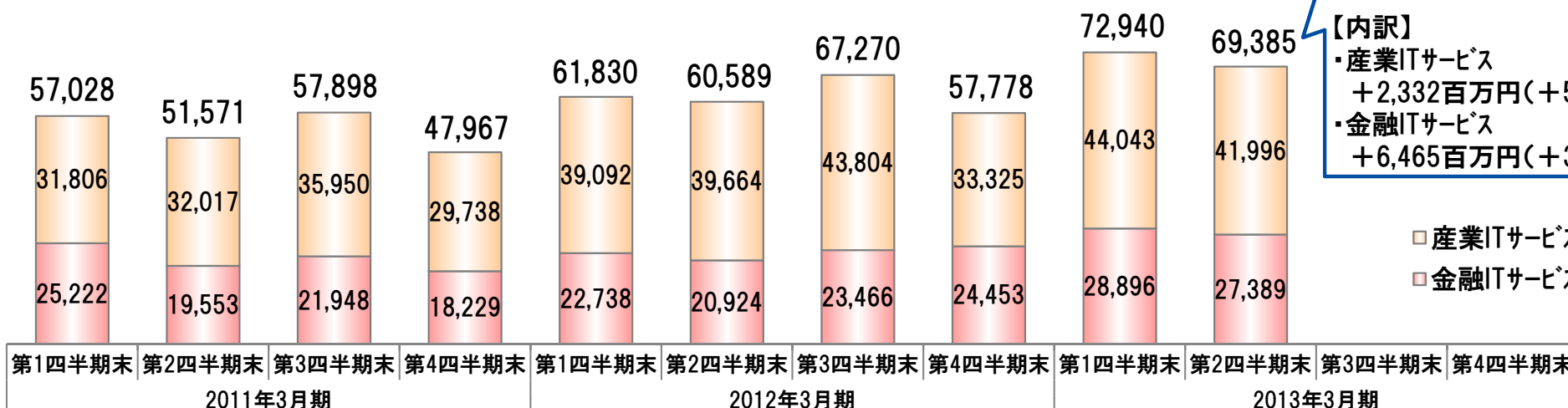
前年同期比
+497百万円(+1.1%)

【内訳】

- 産業ITサービス
▲3,411百万円(▲10.5%)
- 金融ITサービス
+3,907百万円(+33.1%)

□ 産業ITサービス
□ 金融ITサービス

<期末受注残>



前年同期比
+8,796百万円(+14.5%)

【内訳】

- 産業ITサービス
+2,332百万円(+5.9%)
- 金融ITサービス
+6,465百万円(+30.9%)

□ 産業ITサービス
□ 金融ITサービス

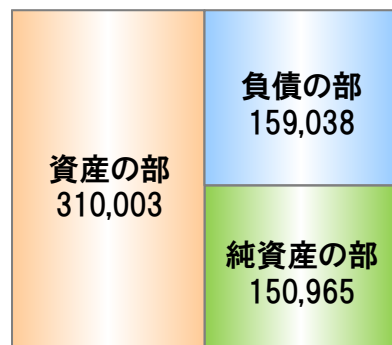
当期受注高・当期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。

2013年3月期第2四半期(累計) 貸借対照表、キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)

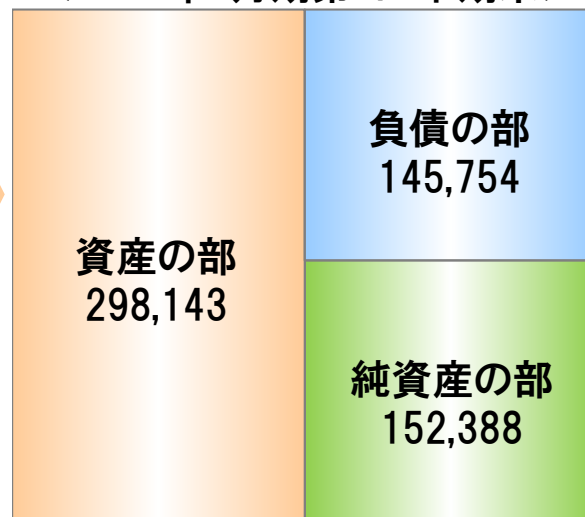


貸借対照表の状況

＜2012年3月期末＞

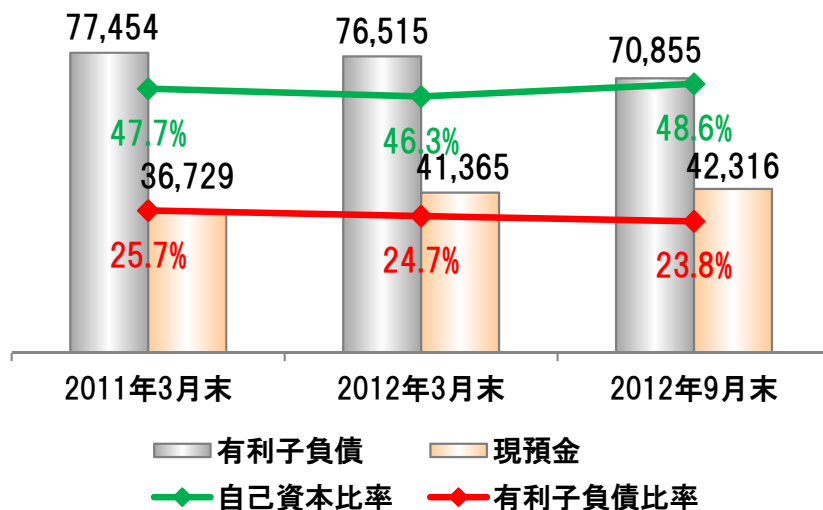


＜2013年3月期第2四半期末＞

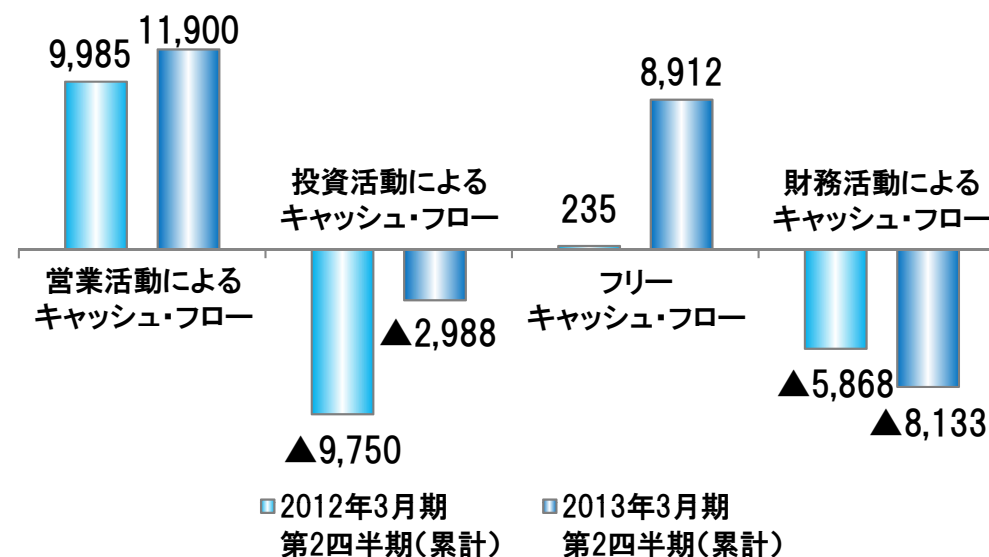


- 資産の部: 前期末比▲11,860百万円
 - ・流動資産: ▲7,183百万円(売掛金等)
 - ・固定資産: ▲4,676百万円(差入保証金等)
- 負債の部: 前期末比▲13,284百万円
 - ・流動負債: ▲10,339百万円(短期借入金・買掛金等)
 - ・固定負債: ▲2,945百万円(長期借入金等)
- 純資産の部: 前期末比+1,423百万円
- 自己資本比率: 48.6%(前期末比+2.3%)
- 有利子負債: 70,855百万円(前期末比▲5,660百万円)

有利子負債の状況



キャッシュ・フローの状況



2013年3月期第2四半期(累計) 業績概要

2013年3月期通期 業績見通し

重点施策の進捗状況

参考資料

顧客のIT投資動向はまだ模様ながら、全体としては緩やかなプラス成長の継続を見込む。

ITインフラストラクチャーサービス

- ・BCP・DRの観点からデータセンター活用に対する引き合いは引き続き堅調。
- ・海外通信系の需要取込みによる売上高が増加。



金融ITサービス

- ・クレジットカードは業績回復により、持ち直し傾向が続く。決済ソリューション等、サービス向上に向けたIT投資に対して前向き。一部では既存システムの効率化ニーズが高まっている。
- ・業界全体ではメガバンクや保険等の統合に伴うIT投資の拡大が本格化。



産業ITサービス

- ・中国を中心とする世界景気の減速等の影響で不透明感が高まり、製造業のほか、サービス・流通でもIT投資意欲が減退。
- ・業界全体ではスマートフォン関連の通信ネットワーク/システム投資が好調。
- ・公共は共通番号制度(マイナンバー)の法案が成立すれば、制度導入に向けて省庁・自治体ともIT投資は拡大。



ITHDグループの顧客動向も参考にしているため、一般の状況と異なる場合があります。

- 当第2四半期連結累計期間の業績は期初計画を上回り好調に推移したが、日中関係の緊張等による先行き不透明な景気動向等を考慮して、現時点では業績予想を変更せず。

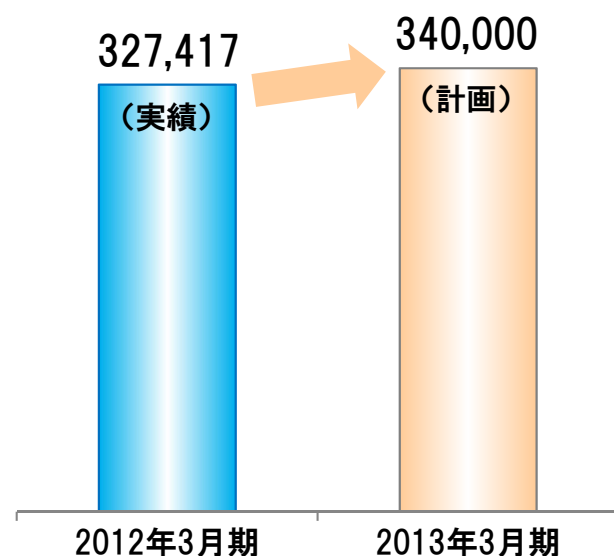
売上高：製造業の大手顧客向け大型開発案件、カードの持ち直しもあるが、製造業を中心とした産業分野において先行き不透明な景気動向等の影響を懸念。

営業利益：増収効果のほか、前期に実施したオフィス移転・集約の効果や子会社合併に伴う施策の効果が発現等がある一方、先行投資や電力料値上げの影響等を考慮した水準。

- 1株当たり配当金予想 年間21円(前期比+3円。中間7円、期末14円)の変更なし。連結配当性向は30.7%の見込み。

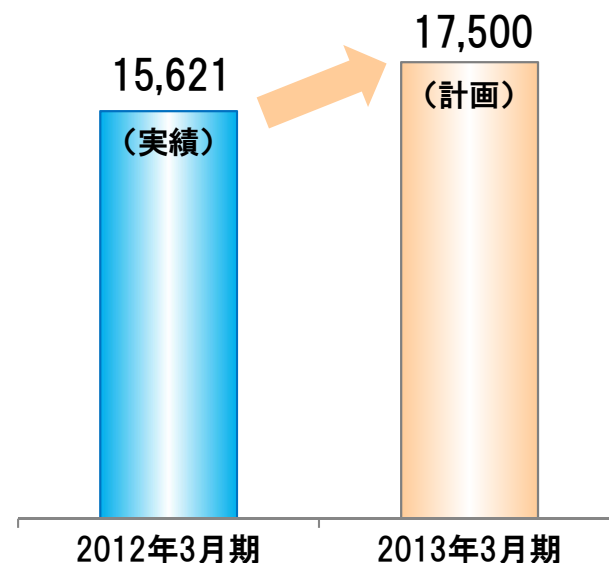
<売上高>

前期比: +12,583百万円(+3.8%)



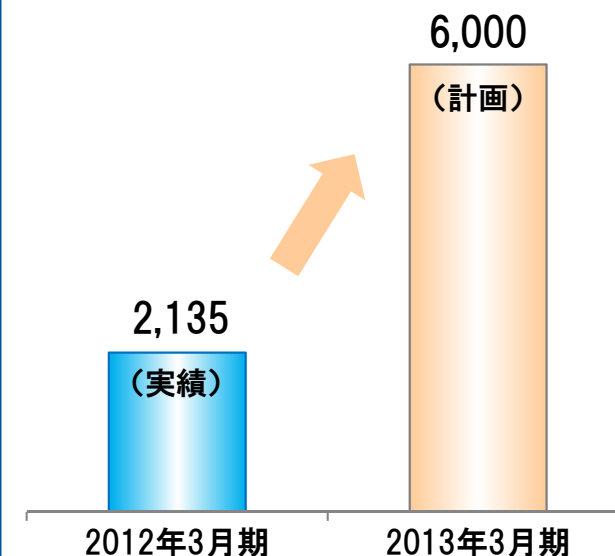
<営業利益>

前期比: +1,879百万円(+12.0%)



<当期純利益>

前期比: +3,865百万円(+181.0%)

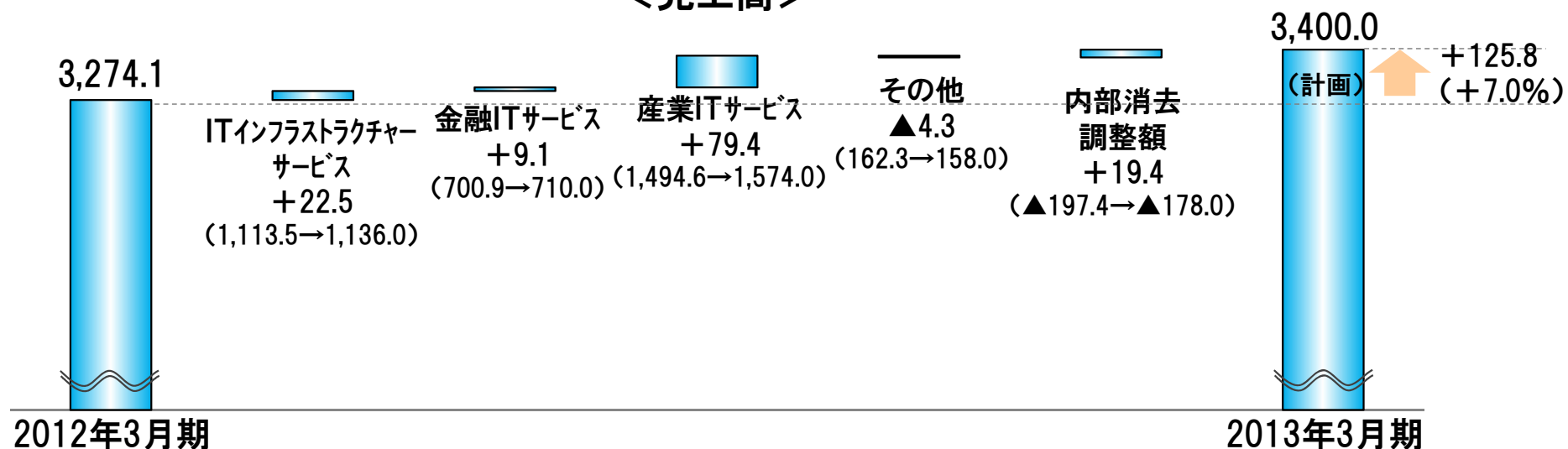


2013年3月期通期 売上高・営業利益増減分析

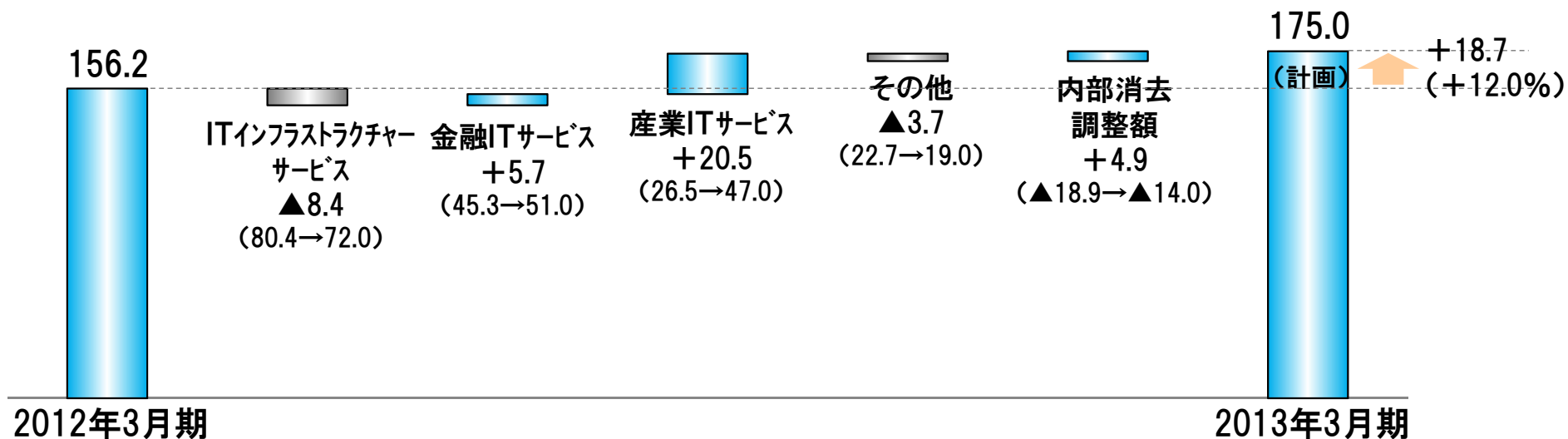
(単位: 億円)



<売上高>



<営業利益>



2013年3月期通期 主要セグメント別損益状況予想

(単位:百万円)



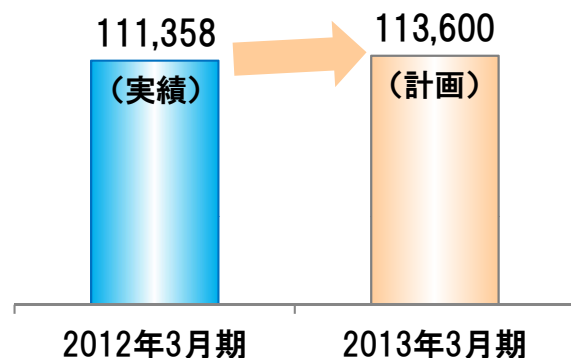
IT Holdings

ITインフラストラクチャーサービス

<売上高>

前期比: +2,242百万円(+2.0%)

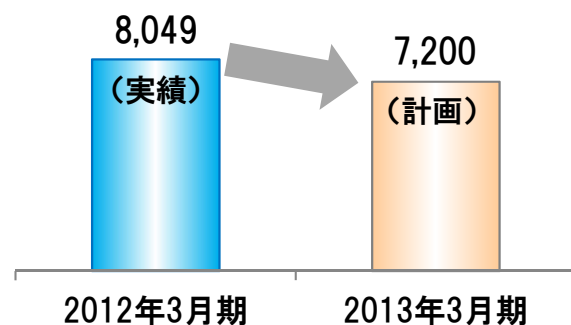
BCP・DR需要等に伴うGDC御殿山の稼働向上により増収を見込む。



<営業利益>

前期比: ▲849百万円(▲10.5%)

GDC御殿山が稼働向上により改善するが、電力料値上げの影響により、減益を見込む。

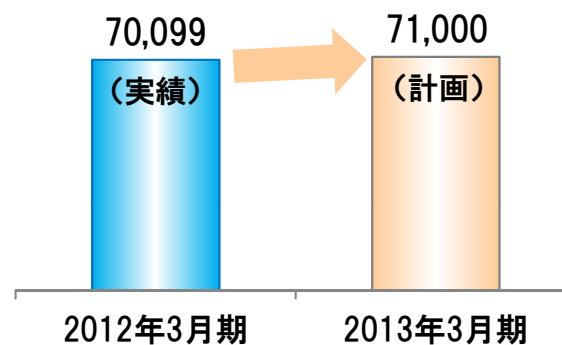


金融ITサービス

<売上高>

前期比: +901百万円(+1.3%)

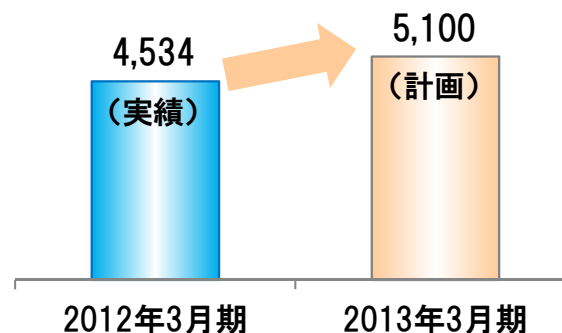
カードの持ち直し等により増収を見込む。



<営業利益>

前期比: +566百万円(+12.5%)

カードの持ち直しに伴う稼働率向上等により増益を見込む。

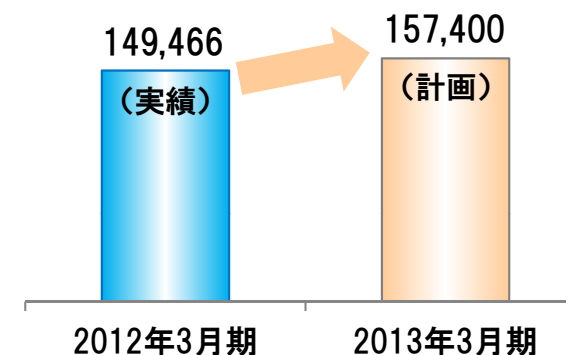


産業ITサービス

<売上高>

前期比: +7,934百万円(+5.3%)

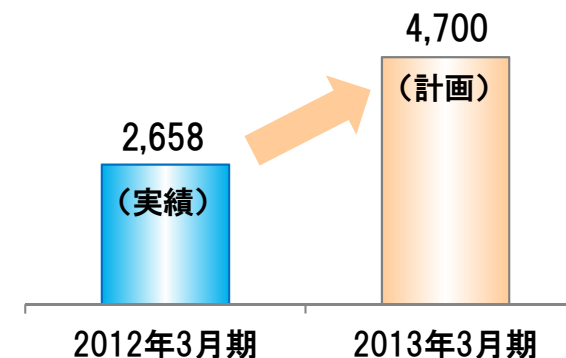
主要顧客向け大型案件の拡大が寄与するほか、産業分野の拡大継続により増収を見込む。



<営業利益>

前期比: +2,042百万円(+76.8%)

増収効果等により、増益を見込む。



各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

2013年3月期第2四半期(累計) 業績概要

2013年3月期通期 業績見通し

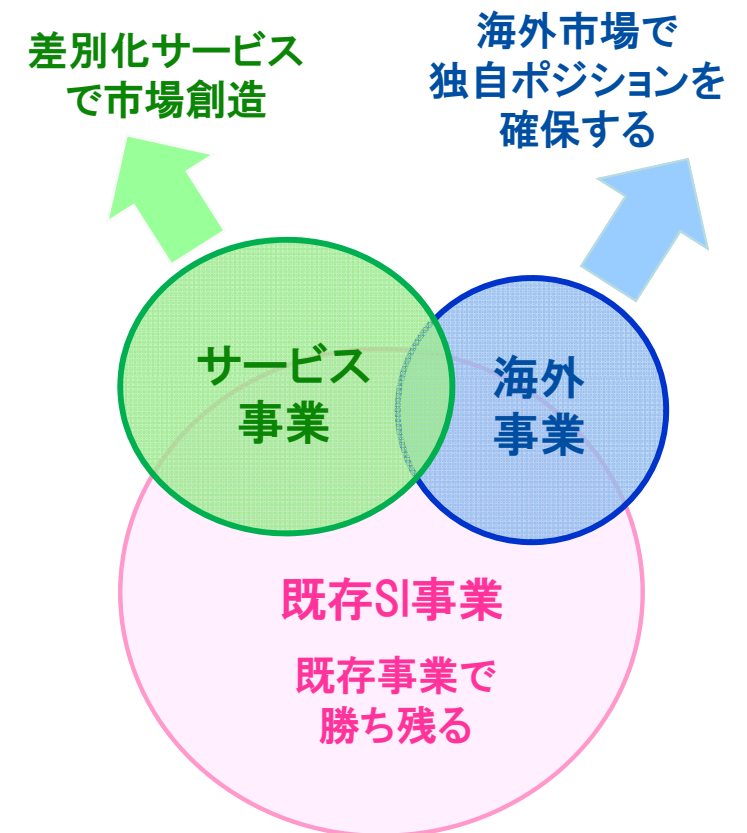
重点施策の進捗状況

参考資料

➤「第2次中期経営計画 基本コンセプト」・「2013年3月期 ITHDグループ経営方針」・「目指す事業ドメイン」

第2次中期経営計画 基本コンセプト	2013年3月期 ITHDグループ経営方針
トップライン重視	本格的なV字回復の年度と位置付け、売上高拡大を図る ・グループフォーメーションの進化(コア事業、成長分野に注力できる体制構築) ・顧客基盤の再構築、成長企業/成長分野への取組みを強化 ・営業の改革を図る
as One Company	グループ全体最適に向け、一体感を醸成する ・コーポレート機能の整理集約 ・先行投資を可能にする強靱な財務基盤の確立 ・商品ブランド・コーポレートブランドの強化 ・次期グループ経営管理システムの構築 ・ITHDカレッジの創設
進取果敢	事業面の変革を行う サービス化・グローバル化へ踏み出す ・市場起点サービス展開のためのマーケティング機能を強化 ・ASEANを中心にグローバル化を加速 ・投資委員会の設置

＜目指す事業ドメイン＞



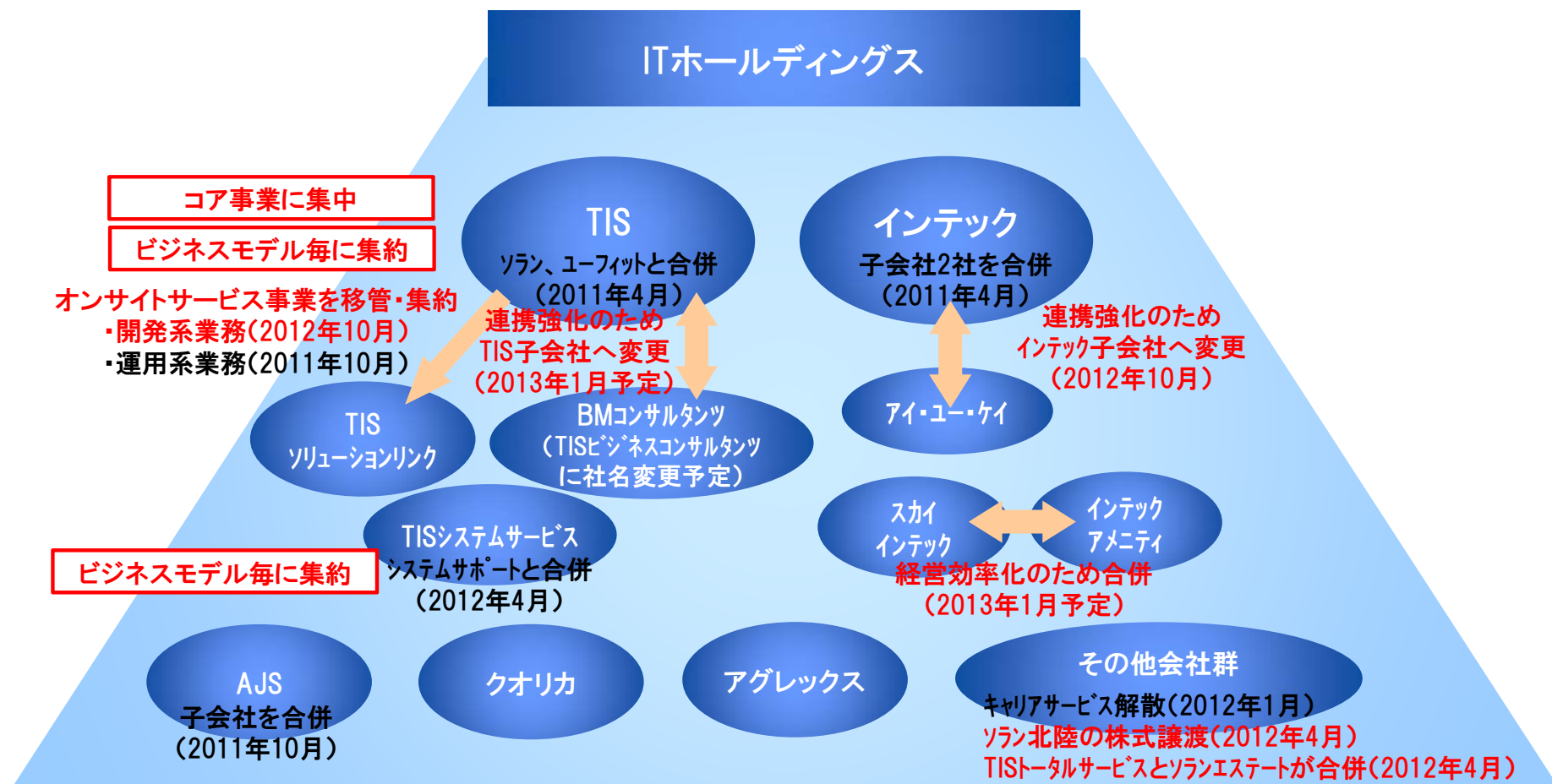
第2次中期経営計画
基本コンセプト

トップライン重視

as One Company

進取果敢

今後の成長に向けての体制整備を推進＝コア事業に集中、ビジネスモデル毎に集約
2010年3月末:55社 → 2012年9月末:44社(▲11社)



- ・デビットカードのイシューングに必要なアプリケーションや業務オペレーション等、必要となる環境をワンストップで提供することを可能とした、画期的なサービス。2012年10月より提供開始。金融機関のブランドデビットカード事業の立ち上げを早期かつ低コストで支援。



第2次中期経営計画
基本コンセプト

トップライン重視

as One Company

進取果敢

サービス
事業

▶ 予防保全支援システム「CareQube(ケアキューブ)」

大手顧客との取引から得たノウハウ・技術を活かして開発、業界初クラウド対応。
“ものづくり”領域からアフターマーケットの領域へビジネスを拡大。

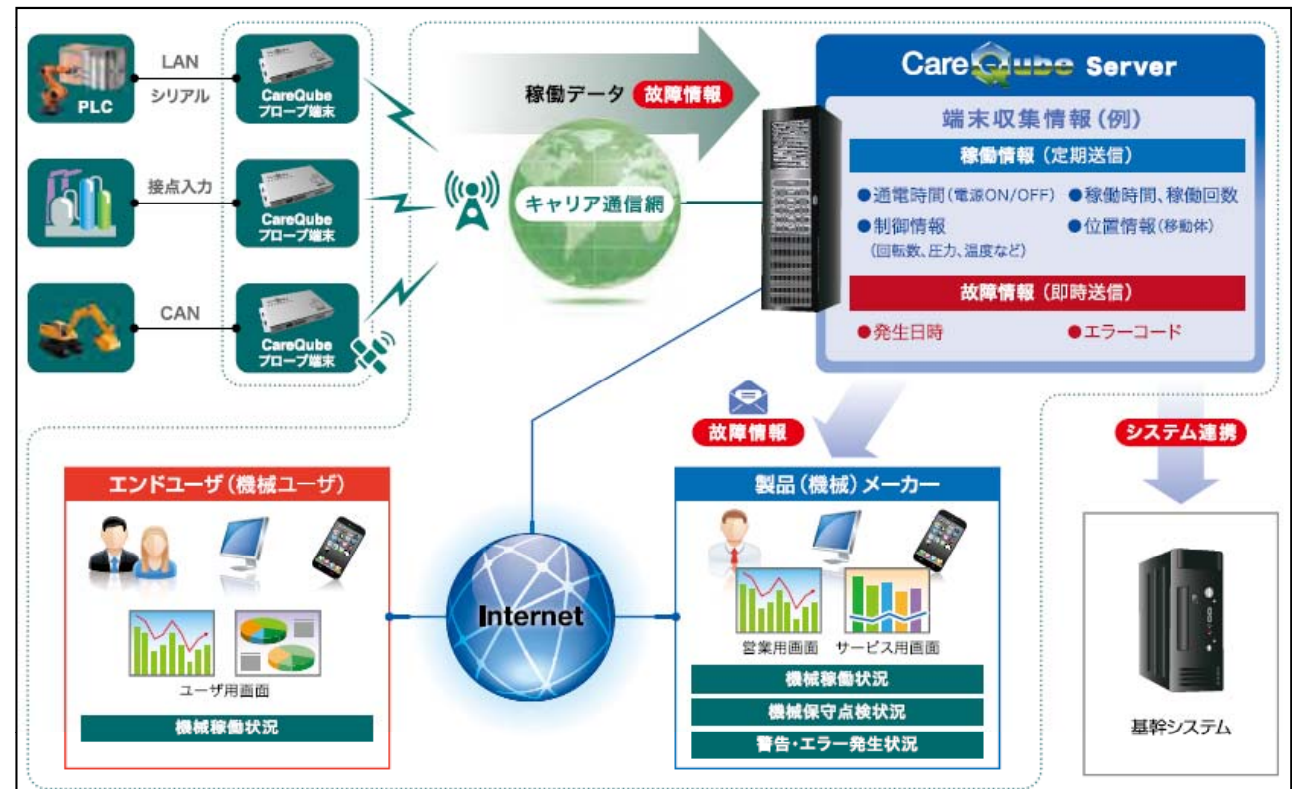
- ・機械の稼働状況を見える化し、予防保全を推進するシステム。
クオリカが2011年5月より提供中。

CareQubeプロンプ端末
(外観イメージ)



CareQube

見える化



第2次中期経営計画
基本コンセプト

トップライン重視

as One Company

進取果敢

海外
事業

▶「アジアマルチプラットフォームサービス」

日本と現地拠点で連携し、増加する企業の海外でのITサポートニーズにワンストップで対応。アジアにおけるビジネス展開に必要なITインフラソリューションをワンストップで提供し、ビジネス立上げにおける煩雑な手間を軽減。企業のアジア展開をスピーディに実現。TISが2012年10月より提供開始(日本・中国・シンガポールを中心にサービス展開)。

▶ソフトバンクグループとデータセンターサービスで協業

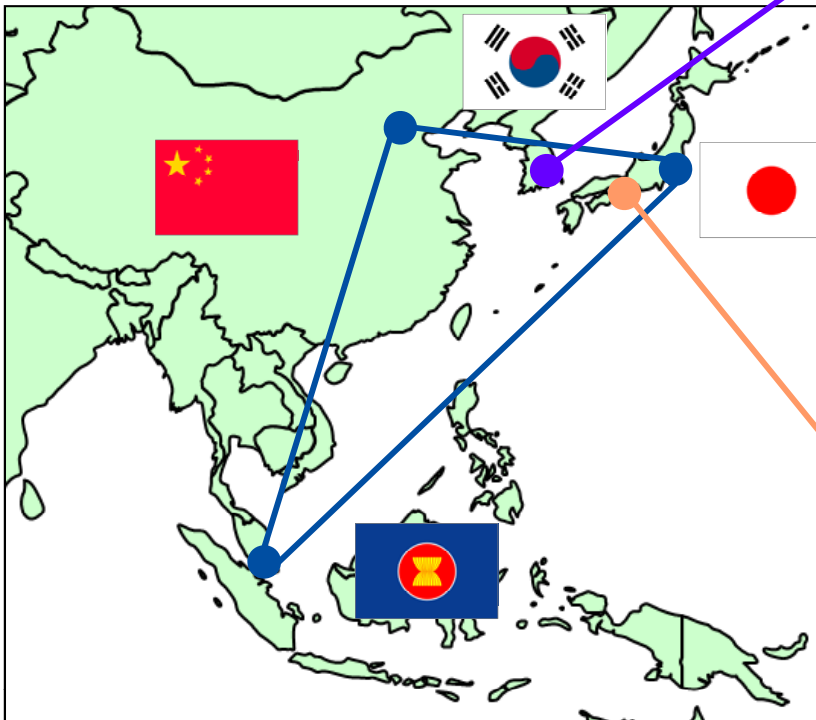
リスク分散の観点からニーズの高まる国際的なDR/BR体制構築・運用を日本と同じ品質のサービス提供により支援。

ソフトバンクテレコムグループのプサンデータセンターをTISの提供するDR/BRサービスの一部として2012年10月より提供開始。

▶大阪地区においてデータセンター事業を強化

関西エリアにおける需要増への対応とサービス機能の拡充。

- ・インテックが関電システムソリューションズとの協業で「大阪第2 DC」を2012年10月に開業。広域仮想クラウドサービス「EINS WAVE」を強化。
- ・TISが新規データセンター「心斎橋gDC-EX」の構築を決定。2013年5月に開業予定。



第2次中期経営計画
基本コンセプト

トップライン重視

as One Company

進取果敢

ITHDグループ 海外拠点一覧(2012年9月現在)



【中国】

- ・北京:北京駐在員事務所、北京ソラン
- ・天津:天津TIS海泰、天津市雷智、天津ソラン
- ・大連:インテック大連
- ・上海:TISI上海、インテック上海、クオリカ上海
- ・西安:北京ソラン(西安分公司)
- ・武漢:インテック武漢

【ベトナム】

ホーチミン駐在員事務所、オーテックベトナム

【タイ】

インテックシステムズバンコク

【シンガポール】

TISIシンガポール
TKSOFT

(社名は略称にて表記しています)

第2次中期経営計画
基本コンセプト

トップライン重視

as One Company

進取果敢

■グループ経営の基本施策とビジネステーマ

①グループフォーメーションの進化

- ・コア事業、成長分野に注力できる体制構築
→フォーメーション再編を順次実施/検討中。

②“グループ共通の精神”の醸成

- ・ITHDカレッジの創設
→「as One Company」に向けた一体感醸成プログラム「IT Holdings Group College」を創設。

③先行投資を可能にする強靱な財務基盤の確立

- ・連結納税
→連結納税制度検討プロジェクトを開始、中間報告を実施(2012年9月)。
- ・CMS一体運用
→CMS一体運用検討プロジェクトを開始、検討中。
- ・国際税制
→海外税務リスクの低減を目的としてグループ内情報共有の活発化を推進中。

④コーポレート機能の整理集約

- ・シェアード業務の範囲拡大と質的向上
→通常の業務移管のほか、グループ再編に伴う諸制度統合に向けて業務・システム集約を推進中。
→グループBCP策定、災害対策備蓄品の共同調達等を実施中

⑤商品ブランド・コーポレートブランドの強化

- ・サービス名の統一化
→グループ社内外の有識者を選定、現状と今後の在り方をヒヤリングを実施(2012年10月)。

2013年3月期第2四半期(累計) 業績概要

2013年3月期通期 業績見通し

重点施策の進捗状況

参考資料

発表日付	タイトル
2012/7/2	TIS、ブランドデビットカード事業に必要なシステムから運用業務までを提供するアウトソーシングサービスを提供開始(TIS)
2012/7/3	TIS、DR/バックアップパッケージ「システム丸ごと災害対策パッケージ」を提供開始(TIS)
2012/7/4	TIS、PeopleSoft HCMのクラウド型サービスをコアにした「人材管理クラウドソリューション(仮)」を提供開始(TIS)
2012/7/11	TIS、全農食品のDR環境を2ヶ月半という短期間で構築(TIS)
2012/7/17	TIS、利用者の位置情報や嗜好に応じたクーポン情報などをスマートフォンにプッシュ配信できる店舗集客支援SaaSを提供(TIS)
2012/7/23	クオリカとアスカT3、外食産業向けビジネス拡大に向け資本業務提携(クオリカ)
2012/7/25	ゲーミフィケーションで商品を脳に印象づける「の〜にん」スマートフォン向け広告連動型ゲームアプリを提供開始(キーポート・ソリューションズ)
2012/7/31	会社分割(簡易吸収分割)による当社子会社インテックへの子会社管理事業(一部)の承継に関するお知らせ
2012/8/1	TIS、子会社に開発系オンサイトサービス事業を移管(TIS)
2012/8/7	TISとPTCがエンタープライズ・パートナーシップを締結(TIS)
2012/8/8	SaaS型ITサービス管理ツール「BCPM Light」8月8日サービス開始(キーポート・ソリューションズ)
2012/8/21	ネットワーク障害のアラートの自動取得など、インシデント管理の自動化オプションの利用が可能になったITサービス管理ツール「Bit Cruiser Process Management」新バージョン1.5を提供開始(キーポート・ソリューションズ)
2012/8/23	個人投資家を対象とした投資及び景気動向に関する7月度「定点観測レポート(第13回)」発表(キーポート・ソリューションズ)
2012/8/27	クレジットカード業界における国際的なデータセキュリティ基準「PCI DSS ver2.0」完全準拠証明を取得(TIS)
2012/8/29	クオリカ、ワークスタイル改革を実現するソリューション「Thin Office」の提供を開始(クオリカ)
2012/8/29	ISOの認証取得について(ウィズインテック)
2012/8/31	クオリカとフジモト、小規模外食産業向けに初期費用不要のレンタルPOSサービス「TOPAZ QF」提供開始(クオリカ)
2012/9/4	クラウド・スコープ・テクノロジーズ製品MPLS網監視システムが東京証券取引所の超高速ネットワーク基盤「arrownet version2.0」に採用(クラウド・スコープ・テクノロジーズ)
2012/9/12	書籍『プロフェッショナル要件定義の教科書』を出版(インテック)
2012/9/12	TISがYahoo! JAPANと協業し、『ナレジオン』に「安心」「確実」「低価格」が特徴の法人向けYahoo!安否確認サービスとの連携機能を追加して販売開始(TIS)
2012/9/13	TIS、020ソリューション『TECHMONOS』を提供開始(TIS)
2012/9/18	TIS、マカフィーとパートナー契約を締結し、エンタープライズ向けのセキュリティソリューションを強化(TIS)
2012/9/19	ネクスウェイとドリーム・アーツ、チェーンストアの経営と現場のPDCAサイクルを支援する『店舗matic』に業務改善に直結する「コミュニケーションレポート機能」を強化(ネクスウェイ)
2012/9/25	ペーパーレス情報共有サービス『リーフボックス』を提供開始(中央システム)
2012/9/26	現場で簡便に利用できる高感度アスベスト計測技術の開発に成功(インテック)
2012/9/27	TIS、「IT戦略コンサルティングサービス」事業を強化(TIS)



IT Holdings

(ご注意事項)

- ・本資料ではITホールディングスを略称名(ITHD)にて記載しています。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、ITHDグループ(ITHDおよびグループ会社)が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。